

## 投資信託の基準価額下落について (2019年12月末～2020年3月末)

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

グローバル景気の減速懸念などから金融市場は大きく下落しました。

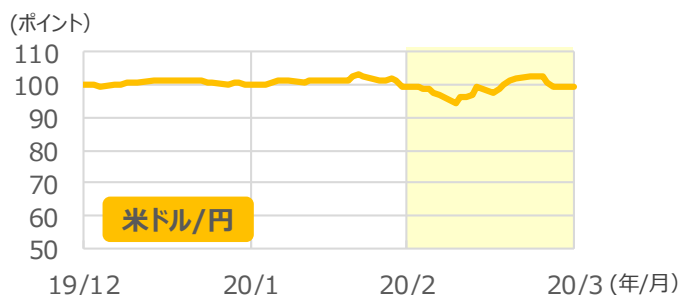
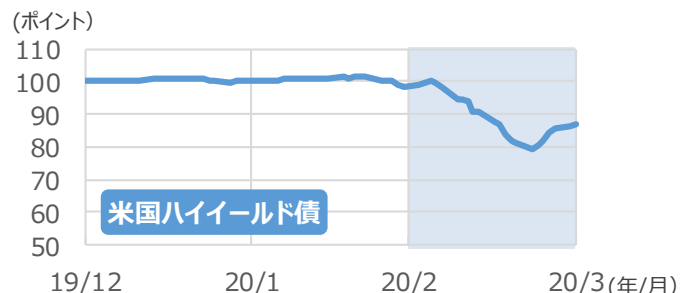
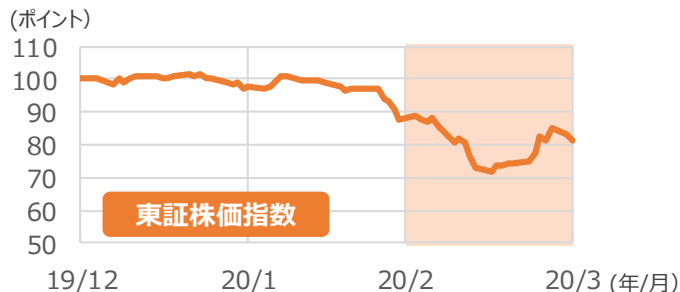
以下のファンドの基準価額が大幅下落となりましたので、足もとの状況、今後の見通しと併せてご報告致します。

### 1. 足もとの市場環境

- 世界の金融市場は、2020年2月下旬以降、新型コロナウイルスの感染拡大などによる世界経済の先行き不透明感が強まったことが嫌気され大きく変動しました。FRB（米連邦準備制度理事会）が緊急利下げを表明するなど、各国・地域で相次いで金融緩和政策が発表されましたが、その後も値動きの荒い展開が続いています。
- 北米の代表的な原油価格であるWTIは、新型コロナウイルスの感染拡大によるグローバル景気の減速が懸念されるなか、石油輸出国機構（OPEC）と非加盟主要産油国の協調減産交渉が決裂したことから、昨年末には1バレル＝60米ドル以上あった原油価格が一時20米ドル割れまで、急落したことも金融市場の変動を大きくしました。

各市場の推移 (2019年12月末～2020年3月末)

	東証株価指数	S&P500	世界リート	米国ハイイールド債	米ドル/円
2020/3/31	1,403.04	2,584.59	141.23	1,226.17	107.78
1か月騰落率 (%)	▲ 7.1	▲ 12.5	▲ 23.7	▲ 11.7	▲ 0.4
3か月騰落率 (%)	▲ 18.5	▲ 20.0	▲ 29.6	▲ 13.1	▲ 0.7



(注1) 1か月騰落率は2020年2月末対比、3か月騰落率は2019年末対比。

(注2) グラフは2019年12月末を100として指数化。

(注3) 世界リートはS&P Global REIT Index、米国ハイイールド債はICE BofA US High Yield Index。

(出所) Bloomberg、ICE Data Indices, LLC

## 2. 今後の見通し

- 欧州や米国を中心に新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。各国・地域では感染拡大防止のために外出禁止令が発令されるなど、経済活動に影響を及ぼすことが不可避の状況となっており、2020年の世界経済は大きく下振れすることが予想されます。
- 引き続き予断を許さない状況ではありますが、新型コロナウイルスの影響が年内をめどに収束に向かえば、各国・地域の政府や中央銀行による各種財政、金融政策の効果により経済は徐々に持ち直しに向かうことが予想されるため、2021年にかけて回復していくとみています。

## 3. 基準価額が1カ月前対比▲15%または3カ月前対比▲30%以上下落した投資信託

2020年3月31日基準

\* 騰落率は税引前分配金再投資基準価額ベース、投資家利回りとは異なります。

	ファンド名	基準価額 (円)	3か月 騰落率 (%) *	1か月 騰落率 (%) *
1	北米エネルギーファンド (年2回決算型)	4,129	▲ 46.5	▲ 37.0
2	北米エネルギーファンド (毎月決算型)	3,161	▲ 46.1	▲ 36.5
3	米国ハイ・インカム B D C ファンド (年1回決算型)	7,389	▲ 41.4	▲ 37.8
4	米国ハイ・インカム B D C ファンド (毎月決算型)	4,201	▲ 41.1	▲ 37.5
5	日本株厳選ファンド・ブラジルリアルコース	2,006	▲ 38.9	▲ 24.5
6	日本株 2 2 5 ・ブラジルリアルコース (日本株 2 2 5 ファンド (通貨選択型) )	5,379	▲ 37.8	▲ 25.8
7	オーストラリア・高配当株ファンド (年1回決算型)	6,696	▲ 37.8	▲ 32.1
8	日本株厳選ファンド・メキシコペソコース	4,023	▲ 37.5	▲ 28.3
9	YOUR M I R A I ワールド・リゾート	6,228	▲ 36.7	▲ 22.8
10	エマーシング・ボンド・ファンド・メキシコペソコース (毎月分配型) (通貨選択型エマーシング・ボンド・ファンド)	5,326	▲ 36.4	▲ 35.8
11	ベトナム株式ファンド	11,273	▲ 35.7	▲ 28.3
12	エマーシング・ボンド・ファンド・南アフリカランドコース (毎月分配型) (通貨選択型エマーシング・ボンド・ファンド)	2,346	▲ 35.4	▲ 30.7
13	エマーシング・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース (毎月分配型) (通貨選択型エマーシング・ボンド・ファンド)	1,546	▲ 35.4	▲ 29.8
14	日本株 2 2 5 ・資源 3 通貨コース (日本株 2 2 5 ファンド (通貨選択型) )	6,083	▲ 35.3	▲ 24.0
15	高成長インド・中型株式ファンド	6,060	▲ 35.0	▲ 36.2
16	高成長インド・中型株式ファンド (年1回決算型)	5,747	▲ 34.9	▲ 36.2
17	三井住友・グローバル・リート・オープン (1年決算型)	8,558	▲ 34.9	▲ 29.8
18	三井住友・グローバル・リート・オープン	2,583	▲ 34.4	▲ 29.4
19	S M B C ・日興ニューワールド債券ファンド (ブラジルリアル)	1,860	▲ 33.8	▲ 28.4
20	日本株アルファ・カルテット (毎月分配型)	1,167	▲ 33.6	▲ 23.2
21	日本株厳選ファンド・豪ドルコース	5,190	▲ 32.4	▲ 19.4
22	日本株 2 2 5 ・豪ドルコース (日本株 2 2 5 ファンド (通貨選択型) )	5,961	▲ 31.4	▲ 20.8
23	アセアン成長国株ファンド	6,629	▲ 31.3	▲ 24.0
24	オーストラリア高配当株プレミアム (毎月分配型)	1,945	▲ 31.2	▲ 28.4
25	三井住友・米国ハイ・イールド債券・ブラジルリアルファンド	1,815	▲ 30.5	▲ 22.9

(出所) Bloomberg, Fundmark

2020年3月31日基準

\* 騰落率は税引前分配金再投資基準価額ベース、投資家利回りは異なります。

	ファンド名	基準価額 (円)	3か月 騰落率 (%) *	1か月 騰落率 (%) *
26	日興グラビティ・ヨーロッパ・ファンド	7,123	▲ 28.7	▲ 23.6
27	エマーシング・ボンド・ファンド・豪ドルコース (毎月分配型) (通貨選択型エマーシング・ボンド・ファンド)	2,259	▲ 28.6	▲ 25.3
28	アジア好利回りリート・ファンド	5,178	▲ 28.3	▲ 27.9
29	アジア好利回りリート・ファンド (年1回決算型)	9,514	▲ 28.0	▲ 27.9
30	米国小型株ツインα (毎月分配型)	2,251	▲ 28.0	▲ 21.8
31	三井住友・アジア・オセアニア好配当株式オープン	3,204	▲ 27.9	▲ 22.1
32	日本株厳選ファンド・トルコリラコース	3,348	▲ 27.8	▲ 17.2
33	日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース	6,405	▲ 27.6	▲ 19.1
34	三井住友・アジア・オセアニア好配当株式オープン (年1回決算型)	8,029	▲ 27.5	▲ 21.5
35	エマーシング・ボンド・ファンド・ニュージーランドドルコース (毎月分配型) (通貨選択型エマーシング・ボンド・ファンド)	5,339	▲ 27.5	▲ 24.2
36	S M B C ・日興ニューワールド債券ファンド (豪ドル)	3,972	▲ 27.5	▲ 24.1
37	Jリート・アジアミックス・オープン (資産成長型)	14,757	▲ 27.1	▲ 24.6
38	Jリート・アジアミックス・オープン (年2回決算型)	7,520	▲ 27.1	▲ 24.5
39	ヘルスケア・リート・プラス	7,391	▲ 27.0	▲ 25.4
40	Jリート・アジアミックス・オープン (毎月決算型)	9,499	▲ 26.9	▲ 24.4
41	三井住友・グローバル・リート・プラス	5,768	▲ 26.5	▲ 22.0
42	新世代自動車株式ファンド	6,981	▲ 25.0	▲ 16.0
43	エマーシング・ボンド・ファンド・カナダドルコース (毎月分配型) (通貨選択型エマーシング・ボンド・ファンド)	6,859	▲ 24.8	▲ 24.4
44	エマーシング・ボンド・ファンド・トルコリラコース (毎月分配型) (通貨選択型エマーシング・ボンド・ファンド)	1,493	▲ 24.7	▲ 24.2
45	世界インパクト投資ファンド	8,385	▲ 24.4	▲ 21.1
46	米国小型ハイクオリティファンド (毎月決算型)	8,279	▲ 22.5	▲ 17.1
47	メキシコ債券ファンド (資産成長型)	7,485	▲ 22.2	▲ 21.4
48	メキシコ債券オープン (資産成長型)	8,199	▲ 22.1	▲ 21.3
49	三井住友・D C つみたてN I S A ・全海外株インデックスファンド	19,593	▲ 22.1	▲ 15.4
50	メキシコ債券オープン (毎月分配型)	4,395	▲ 22.1	▲ 21.2
51	メキシコ債券ファンド (毎月分配型)	4,591	▲ 22.0	▲ 21.1
52	三井住友・グローバル好配当株式オープン	5,953	▲ 21.9	▲ 15.6
53	グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジなし)	8,517	▲ 21.8	▲ 16.0
54	日本株225・米ドルコース (日本株225ファンド (通貨選択型))	10,563	▲ 21.8	▲ 15.1
55	米国小型ハイクオリティファンド (資産成長型)	23,846	▲ 21.3	▲ 15.7
56	三井住友・アジア4大成長国オープン	7,998	▲ 21.2	▲ 17.3
57	グローバルC B オープン・高金利通貨コース	4,835	▲ 20.7	▲ 17.0
58	グローバル3資産ファンド	5,223	▲ 20.3	▲ 16.1

(出所) Bloomberg, Fundmark



【重要な注意事項】

【投資信託商品についてのご注意（リスク、費用）】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託の基準価額は、投資信託に組み入れられる有価証券の値動き等（外貨建資産には為替変動もあります。）の影響により上下します。基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

運用の結果として投資信託に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。したがって、投資信託は預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものでもありません。

● 投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

- ◆ 直接ご負担いただく費用…購入時手数料 上限3.85%（税込）  
 …換金（解約）手数料 上限1.10%（税込）  
 …信託財産留保額 上限1.75%

- ◆ 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用…信託報酬 上限年3.905%（税込）

◆ その他費用…監査費用、有価証券の売買時の手数料、デリバティブ取引等に要する費用（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）、および外国における資産の保管等に要する費用等が信託財産から支払われます。また、投資信託によっては成功報酬が定められており当該成功報酬が信託財産から支払われます。投資信託証券を組み入れる場合には、お客さまが間接的に支払う費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用等に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用の状況により変化するため、あらかじめその上限額、計算方法等を具体的には記載できません。

※ なお、お客さまにご負担いただく上記費用等の合計額、その上限額および計算方法等は、お客さまの保有期間に応じて異なる等の理由によりあらかじめ具体的に記載することはできません。

【ご注意】

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友DSアセットマネジメントが運用するすべての投資信託における、それぞれの費用の最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面等を必ず事前にご覧ください。

投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。

（2019年12月30日現在）

【委託会社】

三井住友DSアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

- 当資料は、受益者の方への情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。
- 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

作成基準日：2020年3月31日